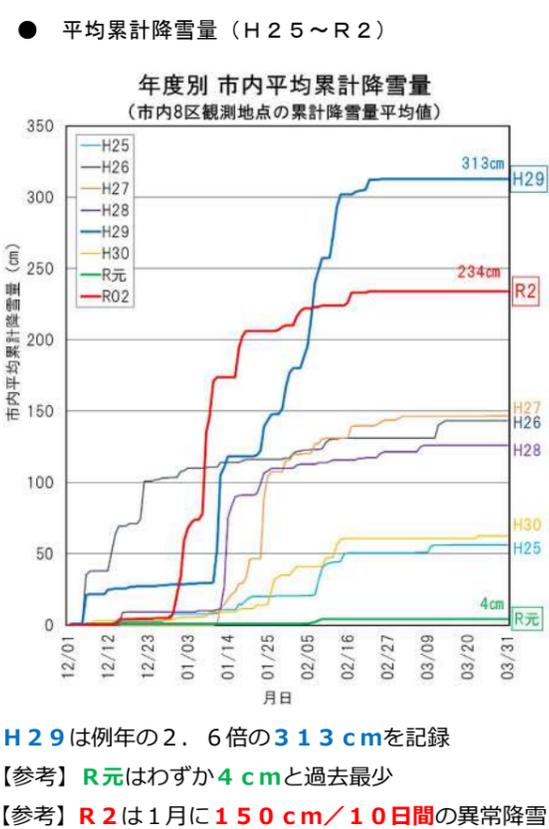


# 平成29年度の豪雪等を踏まえた新潟市の除雪体制見直しについて

(新潟市 土木部 土木総務課)

## 平成29年度の豪雪の状況 (参考:平成30年度~令和2年度の降雪の状況)



● H29最大積雪深 単位:cm

	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	平均
H24~H28平均(A)	39	29	29	37	48	34	20	25	33
H29(B)	60	58	58	56	85	60	85	80	68
(B)/(A)	1.5	2.0	2.0	1.5	1.8	1.8	4.3	3.2	2.1

● 例年降雪量の少ない西区において、最大積雪深85cmを記録

### 市民生活への影響

「幹線道路を中心に連日大渋滞」  
「生活道路における除排雪作業の遅れ」  
「主要なバス路線の運休・タイヤの乱れ」  
「貨物運送の遅れ」 などの大きな影響

幹線道路の渋滞状況 (H30.1.12)    生活道路の除排雪作業の遅れ (H30.1.13)    雪捨て場の混雑状況 (H30.1.16)

## 平成30年度~令和2年度の主な取組

### ICTの導入 ~除排雪作業の効率化を図るため、除雪車運行管理システムを導入~

【概要】  
除雪車にスマートフォン端末を搭載しインターネット上で稼働状況を把握することで、除排雪作業の効率化を図る。(車道の除排雪機械1,216台に搭載)  
システムを利用し、主要幹線道路790kmの除雪状況を市ホームページで公開し、市民サービスの向上を図る。

【効果】  
リアルタイムな除雪車の稼働状況の把握  
異常降雪時の区相互の応援体制の強化  
除雪協力業者及び市職員の業務量の軽減  
正確かつ迅速な除雪費の把握  
除雪状況公開による市民広報の充実  
(今後) 除雪車の除雪受け持ち延長の適正化

● 除雪車運行管理システムのイメージ

システム (自動集計) → インターネット → 稼働状況管理 (新潟市) / 稼働状況管理 (除雪協力業者) / 除雪費集計 / 書類作成・提出

リアルタイム通信 (スマートフォン) → GPS → 稼働状況管理 (操作画面)

### 新たな雪捨て場等の確保 ~除排雪作業の効率化を図るため、雪捨て場や雪置き場を積極的に確保~

【概要】  
河川敷、調整池、駐車場などを活用した大規模雪捨て場、地域の公園や遊休地などを活用した小規模雪置き場を積極的に確保し、除排雪作業の効率化を図る。

【効果】  
運搬時間短縮による除排雪作業の効率化  
運搬車両の分散による雪捨て場の混雑解消  
狭い生活市道における大雪時の早期交通確保

雪捨て場等の開設数推移

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
大規模雪捨て場	18箇所	21箇所 (+3箇所)	21箇所 (±0箇所)	22箇所 (+1箇所)
小規模雪置き場	5箇所	49箇所 (+44箇所)	55箇所 (+6箇所)	69箇所 (+14箇所)
計	23箇所	70箇所 (+47箇所)	76箇所 (+6箇所)	91箇所 (+15箇所)

除雪体制見直しの検討に着手

平成29年度の豪雪により判明した問題点だけでなく、潜在的問題点についても洗い出しを行った上で、除雪体制見直しの検討を行うこととした。

- ### 本市における道路除雪の主な問題点
- 除雪車の受持延長が長く、朝までに除雪が終わらない
  - 除雪車の老朽化により、除雪効率が悪い
  - 区内の雪の量が適切に把握できず、出勤に遅れ
  - 雪捨て場が不足
  - 除雪車の稼働状況が把握できない
  - 排雪を行う目安がない
  - 除雪オペレータの高齢化により除雪の担い手が不足
  - 時間外労働の増加 (働き方改革)
  - 市の道路除雪に関する市民への周知不足
  - 車両の路上駐車、車道を歩く歩行者の影響による大渋滞
  - 異常降雪時の除雪優先順位が不明確
  - 異常降雪時の除雪応援が混乱

- ### 除雪体制検討の視点
- I 除雪の効率化・適正化
  - II 除雪協力業者の支援
  - III 市民広報の充実
  - IV 異常降雪時の対応強化
- 具体的な取組

### 道路除雪PRパンフレットの作成・配布・公開 ~市の道路除雪に関する市民への周知・理解~

【概要】  
マンガやイラストを活用した、市民向けの分かりやすい道路除雪PRパンフレットを作成・配布・公開し、市の道路除雪に関して市民への周知を図る。  
H30年12月に約31万世帯に全戸配布し、市ホームページで公開。  
R2年度は、市役所・各区役所に備え付けるとともに、公共施設等にポスター掲示し周知を図る。

【効果】  
市の道路除雪に関する市民の理解・協力

パンフレット「にいがた『ゆきみち』ガイド」とポスター

### 凍結防止剤散布の見直し ~凍結防止剤散布作業の適正化を図るため、出勤基準等を見直し~

【概要】  
凍結防止剤散布の出勤基準等を見直し、除雪費の多くを占める凍結防止剤散布作業の適正化を図る。  
H30年度に出勤基準を外気温1℃以下に、R元年度に0℃以下とし、気象予報をウェザーニューズに統一。  
近年の暖冬小雪を考慮し、車道・歩道除雪機械と同様に、固定費(機械管理費制度・基本待機料制度)を導入。

【効果】  
凍結防止剤散布作業の業務量軽減と、凍結防止剤散布業者への安定的な支援

### 内部の除雪応援体制の確立 ~異常降雪時の対応強化を図るため、内部の応援体制を確立~

【概要】  
除雪実施基準や除雪契約書を見直し、内部の豪雪時対応や区相互の応援体制を確立。  
関係団体と協議し、災害に「豪雪」を加え、応援要請フローを明確化。

【効果】  
市内部の異常降雪時の応援・受援体制の確立・強化